

市長のあつあつ情報

No.2

「田んぼダム」とは

就任して初めての茂原市議会6月定例会が開会されました。今定例会では副市長の人事案件があり、千葉県の現役職員であり県の消防学校長を務めていた大石学氏に就任していただきました。これまでさまざまな部署で経験と実績を積まれていますので茂原市をより良くするためにお力添えをいただきます。

また、定額減税にかかわる議案や物価高騰対策、新型コロナワクチン等の対策費用助成などの議案がありました。全ても可決されました。中でも水害対策として流域治水の考えの中で「田んぼダム」というメニューがあります。その手法は、田んぼの持つ貯水機能を利用し、大雨時に田んぼに入った雨水を排水出口に細工をすることで徐々に排水せず、一定時間田んぼに貯めてもらう仕組みです。重要な

のは農作物に影響を与えない範囲で取り組みをお願いするものであり、当然、営農者さんの大切な資産である田んぼに損害を与えないということが前提となります。

私は、県議会議員時代に早急にそして低予算で行える取り組みとして「田んぼダム」事業の推進を要望してきました。その甲斐あって今年度より一宮川水系、南白亀川水系等に県の緊急事業として「田んぼダム」設置に対する事業が予算化されました。今回はその県の補助を活用し、市としては初めて「田んぼダム」事業の予算化をしました。これにより、まずは早野地区においては更なる協力を得て、9ヘクタールの拡大を目指して取り組んでいく予定です。上茂原に増設された調節池は40万トンの貯留量があります。田んぼに20センチメートル、2000ヘクタールを貯めると同じ貯留量になり、約1400ヘクタールの田んぼを持つ茂原市でも「田んぼダム」の取り組みが広がることで、河川への雨水の急激な流入が抑制され、水位ピークの低減が図られると考えます。市としても安心して取り組んでいただける体制づくりをしていき、皆さまに少しでも理解をしていただけるよう努力してまいります。



茂原市長 いちはら あつし 淳

「今月の1枚」



田んぼダム用落水樹